

■第4回懇談会における委員の主な指摘事項と対応状況

事項区分	意見の概要	対応状況	資料2-2の番号
(1)はじめに	意見募集に際し、提言案の「はじめに」で、何が課題で、何を審議し、何を目指そうとしているのか、などを記述すべき。	○「1. はじめに」で、学研都市の課題や懇談会の審議内容などを記述するとともに、本格的な活動期を迎えている各施設の集積を生かし、都市全体が一体となって総合力や中枢性の発揮を目指していく必要がある、と追加記述。	〔1〕
(2)一体化、総合力の強化について	学研全体の一体化を促進し、学研都市全体としての総合力を強化することが重要。また、総合力については、特に学研都市が関西の中核を目指すとしても、まずは学研都市そのものが力をつけていかないとだめ。他が学研都市を中核とってくれないと仕方がない。一体化については3府県の一体化、施設間の一体化、研究と産業の連携、市町村を越えた学研都市の市民としての一体化の促進が必要。	○「学研都市としての一体性の確立と総合力の発揮」を学研都市の大きな目標として整理。 ○「3. (5)多彩で魅力的な創造都市の形成②市民と研究機関等との交流を通じた学研都市としての一体化」で、学研都市としての一体感を高めるため、と追加記述。 ○学研都市は、関西の中核を目指すことよりも、学研都市としての総合力を強化することが重要。 ・「2-1学研都市における現状の課題(1)学研都市としての研究機関等の総合力が不十分」で、追加記述。	〔2〕 〔3〕 〔4〕
(3)課題と時代変化	2-1、2-2について、2-1はハード中心、2-2はソフト中心になっている。都市運営、都市と里山の関わりといった課題が抜けている。	○2-1と2-2の分類を明確化すべく修正。 「2-1」については、「現状の課題」、「2-2」については、「新たな時代変化における課題」を強調した形で整理。 ○「2-2踏まえるべき新たな時代変化(4)居住ニーズ、ライフスタイルの多様化への対応」を追加し、その中で里山環境について記述。 ○「2-2踏まえるべき新たな時代変化(5)新たな都市の運営にかかわる課題」を追加し、都市運営における課題を列挙。	〔5〕 〔6〕 〔7〕
(4)ベンチャー企業の育成	これから都市に活力を与えるのはベンチャー企業である。学研都市でベンチャーが育つように、支援の仕組みを整えることが必要。	○ベンチャーの動向、ベンチャーの支援等について、追加記述。	〔8〕
(5)産学官連携等(大学間のネットワーク、リエゾンオフィス機能)について	3(2)②で「大学間のネットワークによる産学官連携の強化」とあるが、大学間だけではなく、大学と研究所、社会と研究所といった連携が必要。また、リエゾンオフィス機能という表現は、わかりにくい。	○「複数の大学が一体となって産学官連携の核の役割を果たす」ということをできるだけ正確に表現。 ○「リエゾンオフィス機能」を「学研都市の情報交流機能等」に修正	〔9〕 〔10〕

<p>(6)アジアを中心とした国際化</p>	<p>他都市との連携について、北京の中関村だけでなく、上海や西安等も考えたらよい。</p>	<p>○他都市との連携については、今後の課題。サード・ステージ・プランの策定にあたって検討。</p> <p>○学研都市におけるアジア関係の動向について、より詳細に記述。 「2-2踏まえるべき新たな時代変化(3)国際化の著しい進展に伴う学術研究都市の課題①国際的な連携戦略の重要性」</p> <p>○海外に向けた戦略的体制の必要性を記述。 「3. これからの学研都市の取り組みの方向性(4)より世界に開かれた国際的な都市への展開①アジア地域を中心に世界各国との交流連携を目指して」</p>	<p>[11]</p> <p>[12]</p>
<p>(7)文化の新たな広がり、市民活動</p>	<p>文化の新たな広がり、産業文化だけでなく、生活文化や市民活動などを記述すべき。</p> <p>外国人を含む多様な市民交流から新たな文化が生まれる。</p>	<p>○市民交流、市民活動等から市民文化や生活文化が生まれることについて、追加記述。 ・「3. これからの学研都市の取り組みの方向性(3)学研都市発の新たな文化の創造」で、追加記述。 ・「3. これからの学研都市の取り組みの方向性(3)学研都市発の新たな文化の創造③地域に密着した学研都市固有の生活文化の創造」で、追加記述。</p>	<p>[13]</p>
<p>(8)都市における多様性</p>	<p>多様性が重要。創造性を発揮する研究者、大学教授、芸人、アーティストなどに、学研内に住んでもらうことが重要。</p>	<p>○「多様性を高め、多くの人が集い、魅力的な創造都市の形成を図る」といった主旨で、追加記述。 ・「2-2踏まえるべき新たな時代変化(4)居住ニーズ・ライフスタイルの多様化への対応」を新たに設け、追加記述。 ・「3. これからの学研都市の取り組みの方向性(1)学研都市としての総合力の強化、新たな学術研究の推進①学研都市全体の一体化の促進、総合力の強化」で、追加記述。 ・「3. これからの学研都市の取り組みの方向性(5)多彩で魅力的な創造都市の形成①多様で魅力ある都市の形成」を新たに設け、追加記述。</p>	<p>[14]</p>
<p>(9)都市の運営</p>	<p>都市の運営に市民が参画できるようにすべき。</p>	<p>○立地機関や市民が都市運営に参画する仕組みについての検討を記述。具体的には、サード・ステージ・プランの策定にあたって検討。</p>	<p>[15]</p>
<p>(10)施策の実施主体等</p>	<p>これからの学研都市の取り組みの方向性について、推進する機関を明確にすべき。</p>	<p>○「4. サード・ステージ・プランの早期策定」の中で記述 ・具体的には、サード・ステージ・プランの策定にあたって検討</p>	<p>[16]</p>
<p>(11)キャッチフレーズ</p>	<p>全体をまとめる「中心的なキャッチフレーズ」が必要。</p>	<p>○キャッチフレーズについては、第5回懇談会において検討したい。</p>	